

(プログラム詳細)

滑空気象 SORAYOMI for soaring

『SORAYOMI』(観天望気)のネットワークをつくり異色の活躍をされている WNI 社からの発表。
今の「ありのままの空」から、五感でそこで起きている空気の動きやエネルギーの流れ、地球の息吹を感じ取り想像することで未来の姿が見えてくる。こんな世界観を共有しながらグライダーで飛ぶみなさんと一緒に「SORAYOMI for SOARING」をつくるプロセスを立ち上げます。
FLT 中の画像(動画、静止画)を用いて『SORAYOMI』: その時何が起きていたのか?--をポイントに各種気象資料を用いた実況解析してみます。さらに予測することが可能か?--までみなさんとディスカッションしていきます。空の写ったお手持ちの画像をお持ちより下さい。みんなでつくる SORAYOMI の輪が全国に広がっていけばいいですね。

国内(関東平野)での銀 C 章獲得事例研究 その 1

関東平野の滑空場のネットワークを利用したクロスカントリー飛行が活発ですが、国内飛行で銀 C 章を獲得すべく若い人たちのチャレンジが活発です。今回はその第 1 弾としてこれまで多くの銀 C 章を国内で獲得している早大チームの内容を事例として発表していただきます。

クロスカントリーのつぼ

すばらしい滑空気象条件と地理的な環境を持つ北海道で、また豪州など外国での飛行経験豊富な SATA 日口氏の経験をもとにクロスカントリーを楽しむコツを発表していただきます。

空域・航法

グライダーの活動範囲が広がって、他の航空機と混じりクロスカントリー飛行を行うチャンスが増えました。基礎知識として航空図の読み方、空域に関する知識のアップデート、他の航空機はどうやって飛んでいるのかを知ること、グライダークロスカントリーで役に立つ航法と飛行プランの作り方、など役に立つ知識をまとめます。

グライダーを生涯スポーツに

日本ではグライダーパイロットライセンスの保有者数は 4,000 人を超えていると思われませんが、現在のアクティブなパイロットは 600 人に達していない程度です。グライダーのスポーツとしてのすばらしさ、こんなすばらしいスポーツを生涯楽しめるような身体健康のコツ、継続的な飛行の為の環境づくり、リハビリ飛行のポイントなど航空宇宙の専門家でグライダーパイロットの嶋田さんが伝授します。